

南原小学校だより



平成26年6月5日（木）

赤白大接戦 まれにみる僅差の勝負

運動会へのご声援 誠にありがとうございました

校長 むこう 向 だ 田 あきら 聡



W優勝を勝ちとった赤組の応援

朝から快晴で良すぎるほどの運動会日和でした。先日の環境整備早朝作業から始まり、学校の草刈りやグラウンド整備、前日の実行委員会準備などできれいに整った会場で、今年も盛大に開幕しました。暑さに負けない子ども達の頑張り、綱引きやリレーなど地区の方々の手に汗握る競技、過酷なマラソンでの卒業生や保護者の方々のがんばりなどなど、驚きの連続でした。

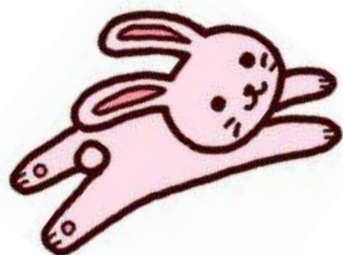
子ども達は、短く限られた準備期間の中で精一杯に取り組みました。6年生の組リーダーを中心に方向性を定め、応援を形づくり、赤白と

も一つの集団として美しい姿を見せてくれました。また、地区の一員として各地区に分かれてからも競技に出場し、大忙しの日でした。特に地区に分かれ、応援合戦を終えてから、陣地前において自分達で応援をし続けていて大変いいなと感じました。子ども達が大勢いる地区もあれば、わずかな人数しかいない地区もあります。それでもどの地区の子ども達も一所懸命に応援していて感心しました。最終的に発表された成績を聞いてビックリ。競技の総合優勝も応援賞もたった数点の差で赤組が勝ち取りました。まさに僅差、互角の戦いであり、両方とも優勝と言っても過言ではありませんでした。両軍の頑なりに拍手を送ります。

今年の地区運動会では関地区の頑なさが目立ちました。応援合戦を見ても様々な隊形移動を工夫していたりして昨年度とは全く違うチームのようでした。何か「今年はやるぞ!!」というきっかけや今までとは違う何らかの取り組みがあったのではないかと想像します。人間の可能性には、やっぱり、意欲が大きく関係しています。子ども達もこの運動会に“やる気満々”で取り組んだことで、大きく成長したのではないかと思います。成果は毎日の生活に表れます。今後が楽しみです。



東李山・大平地区の陣地前応援



ぴよんぴよんリレー

今年導入した縦割り班の活動を生かした競技です。練習を重ねるごとに上手になり工夫も感じられました。タイミングを合わせるために、声に出し、気持ちを一つにする必要がありました。運動会スローガンに迫る競技でした。結果発表、勝利した赤組の歓喜のポーズをご覧ください。頑張った実感がなければ表れないものです。来年も継続するともっともっとレベルの高いものになるかも知れません。

全校リレー



目まぐるしく順位が入れ替わり、最後まで勝負の行方がわからない手に汗握るリレーでした。一人一人走った徒競走では白組がリードしていました。リレーはやはりバトンパスがポイントのようでした。2回目は白組が挽回するも、総合では赤組が勝ったようです。



笹野花笠踊り



練習を繰り返すうちに、笠を大きな動作で操り、腰を低く保ちながら踊ることや目線を大切にすることなど、保存会会長の板垣先生から教わったことを精一杯体現しました。本地区に伝わる伝統芸能を懸命に受け継いでいます。ご覧ください。かなり上手です。

組頭感想発表

成績発表・表彰などの閉会式直後、W優勝の赤組組頭に続いてグッと涙をこらえて発表する白組組頭。2人とも頑張ったみんなを讃えて感謝していました。素晴らしい！！

